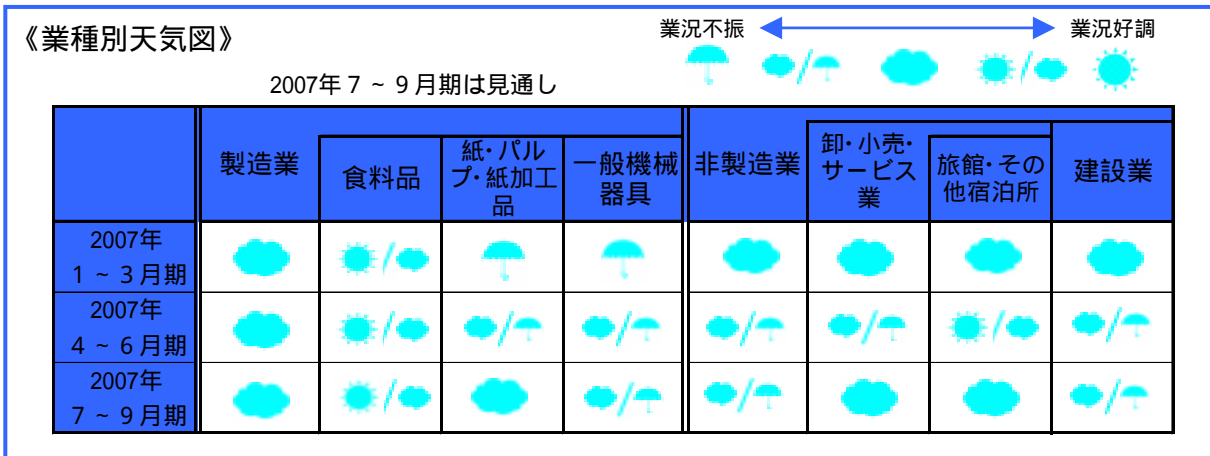
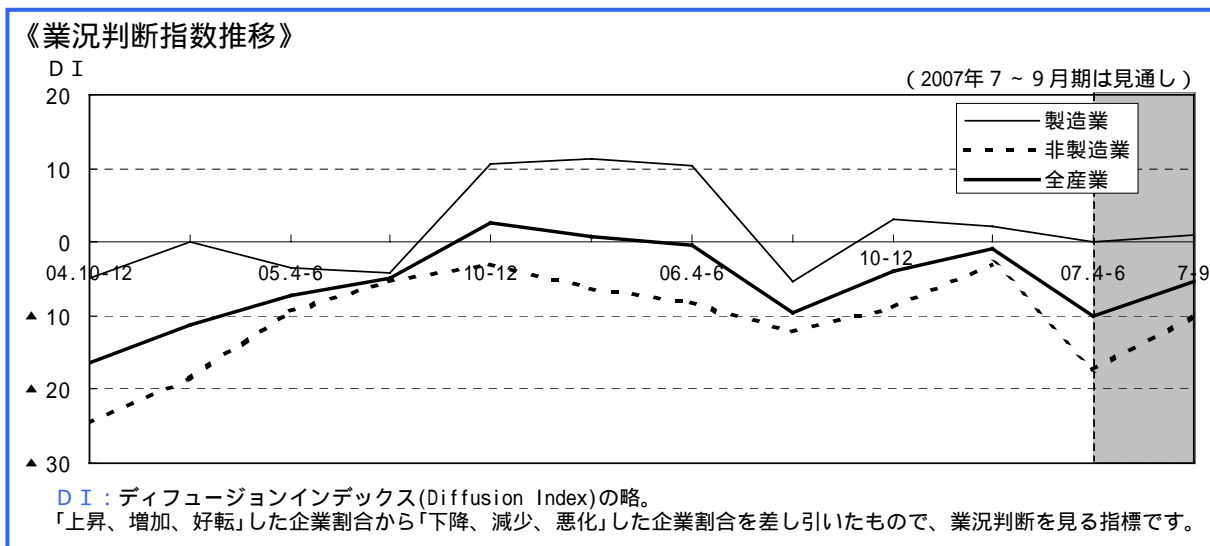


業況概要(自社) ～非製造業で業況判断DIが大幅低下、全体DIも低下～

静岡県東部地域における2007年4～6月期の業況判断DIは、全産業で▲10.0(前期▲0.9)と、前期より大幅に低下した。うち、非製造業の業況判断DIは▲17.4(同▲2.9)となり、2005年1～3月期以来の低い水準となった。特に卸・小売・サービス業で利益DIが大幅に低下しており、原材料・仕入商品の値上がり等を背景にした利益環境の悪化が業況判断の低下につながったとみられる。また、製造業でも業況判断DIは2期連続で下降し0.0(同2.2)となった。

2007年7～9月期の見通しは、主に非製造業での改善により、全体DIは▲5.4と改善を見込んでいる。



《調査の概要》

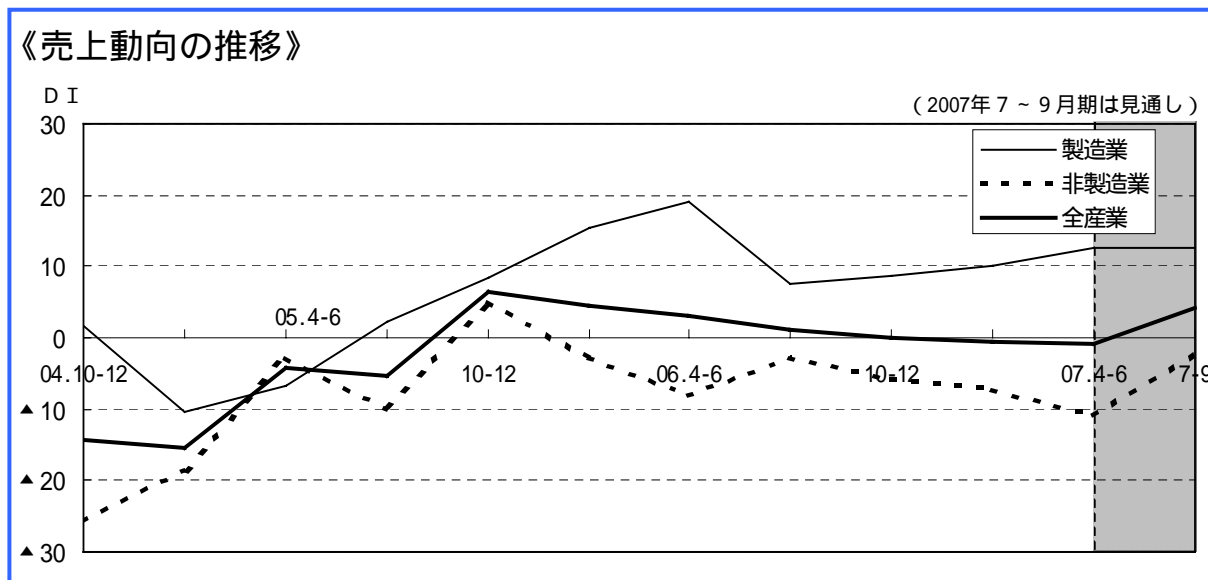
- | | |
|--|---|
| <p>1. 調査目的
静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握</p> <p>2. 調査対象企業
静岡県東部地域に立地する企業 840社
回答数241(回答率28.7%)
業種別企業数は4ページ下段図表を参照</p> | <p>3. 調査方法
当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査</p> <p>4. 調査対象期間
実績:2007年4～6月期
見通し:2007年7～9月期</p> <p>5. 調査時点
2007年5月</p> |
|--|---|

売上動向

製造業のD Iは連続して上昇も、非製造業はD I悪化

2007年4～6月期の全産業の売上動向D Iは▲0.8(前期▲0.4)とわずかではあるが低下した。製造業では金属製品でD Iが低下したが、一般機械器具やその他製造業などで上昇し、全体D Iは12.6(同10.1)と連続して上昇した。一方、非製造業の全体D Iは▲10.9(同▲7.2)と悪化した。旅館・その他宿泊所や建設業ではD Iが改善したが、その他小売・サービス業等で▲14.3(同0.0)と判断の悪化が目立っている。

2007年7～9月期(見通し)の予想D Iは全産業で4.1と2007年4～6月期よりやや上昇を予測している。うち製造業は横ばいを予想しているが、非製造業では反転上昇を見込み、回復への期待感が強い。

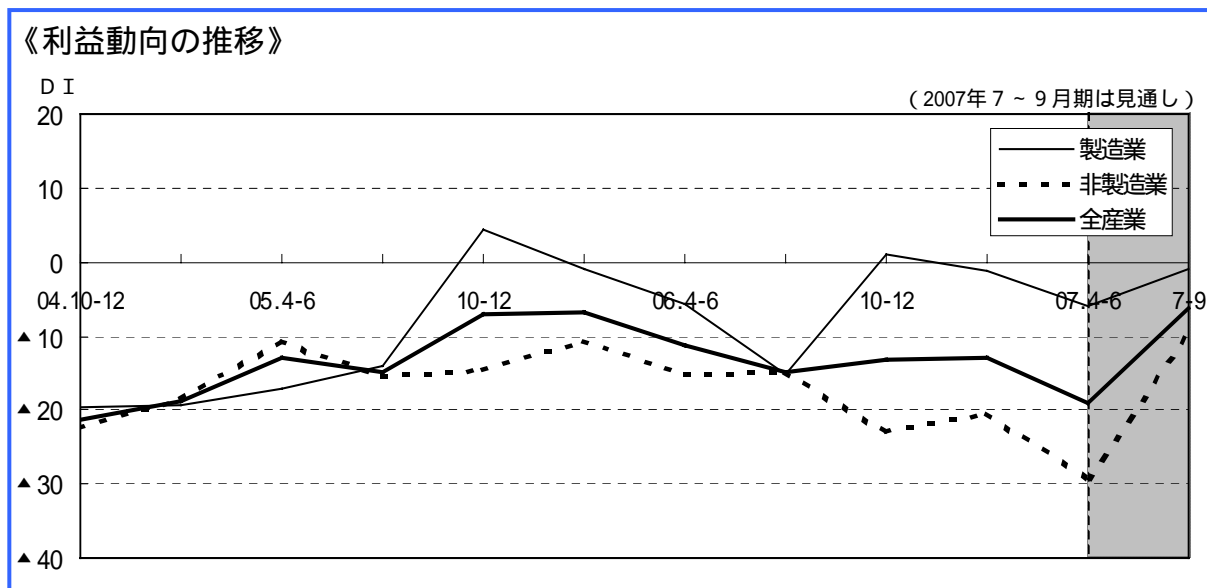


利益動向

製造業、非製造業ともD Iが低下、判断は再び悪化

2007年4～6月期の全産業の利益動向D Iは▲19.1(前期▲12.9)と判断は再び悪化している。うち、製造業は金属製品などの低下が響き、全体でも▲5.8(同▲1.1)と低下した。一方、非製造業は、旅館・その他宿泊所は上昇したが、その他小売・サービス業等、建設業でD Iがいずれも低下したため、全体においても▲29.0(同▲20.6)と2004年7～9月期以来の低水準となっている。

2007年7～9月期(見通し)のD Iは、全産業で▲6.3と上昇が見込まれている。特に、非製造業では利益環境改善への強い期待感が示され、20ポイント近いD Iの大幅上昇を見込んでいる。



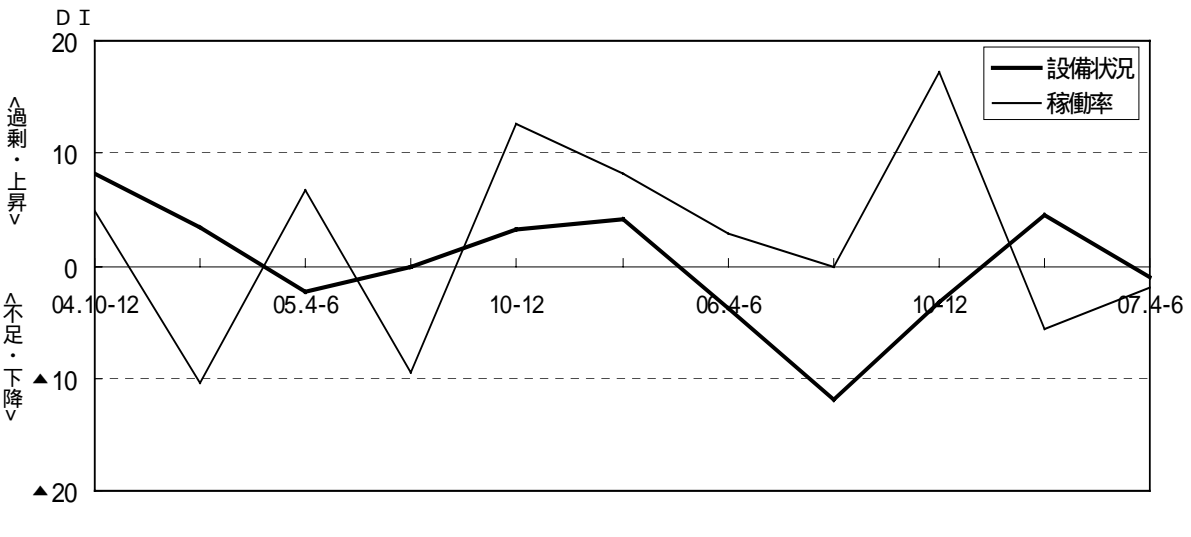
**設備状況・稼働率
(製造業)**

設備状況はわずかに「不足」に、稼働率は「下降」感弱まる

2007年4～6月期の設備状況DIは▲1.0(前期4.5)と、全体ではわずかながら「過剰」から「不足」の判断に転じている。パルプ・紙・紙加工品が「過剰」から「不足」に、一般機械器具が「過剰」から「適正」に転じ、食料品も「不足」感が強まった。

一方、稼働率DIは▲1.9(同▲5.6)と「下降」感は弱まった。食料品、パルプ・紙・紙加工品、一般機械器具でDIが上昇しているが、金属製品では低下している。

《設備状況・稼働率の推移》



**在庫状況
(製造業)**

DIがやや低下、「適正」とする企業の比率が大幅に上昇

2007年4～6月期の在庫状況(製造業)DIは10.8(前期10.2)となり、前期とほぼ横ばいの状態で推移した。なお、内訳をみると、「過剰」または「不足」と判断する企業の割合がともに増加した一方、「適正」の回答比率は73.5%(同83.0%)と低下しており、個別企業・業種での判断が分かれる傾向が出ている。

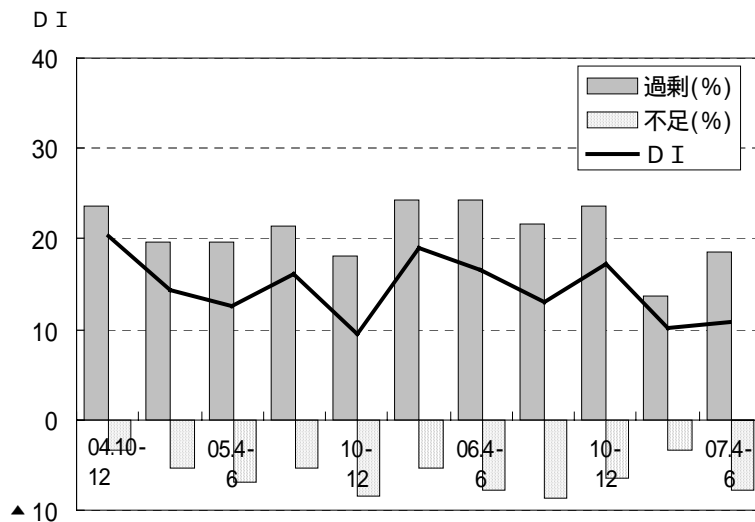
業種別では、食料品、パルプ・紙・紙加工品、金属製品でいずれもDIが上昇し、「過剰」感を強めている。一方、一般機械器具、その他製造業ではDIが低下し、「過剰」感は弱まる傾向にある。

《在庫状況》

	(前期) 2007年 1～3月期	(今期) 2007年 4～6月期
過 剰	13.6 %	18.6 %
適 正	83.0 %	73.5 %
不 足	3.4 %	7.8 %
D I	10.2	10.8

(%は回答企業の比率)

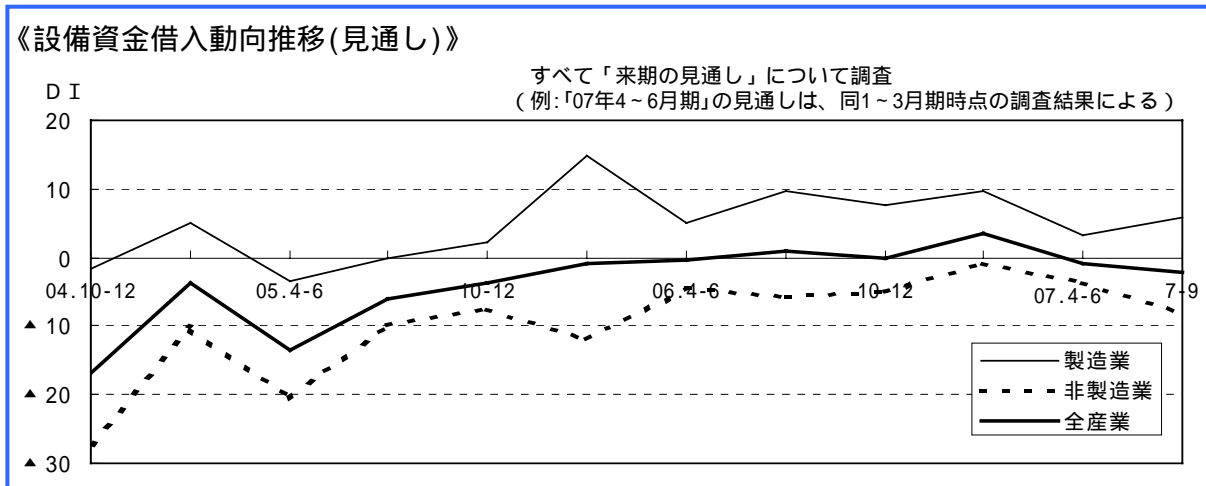
《在庫状況の推移》



設備資金借入
動向(来期)

製造業のD Iは反転上昇も、建設業でのD I低下が目立つ

2007年7～9月期(来期)の全産業の設備資金借入動向(見通し)D Iは▲2.1(前期▲0.9)と2期連続で低下し、借入抑制の基調が続いている。うち製造業は5.9(同3.4)と上昇に転じ、借入増加の姿勢が強まったが、非製造業では▲8.2(同▲3.8)とD Iがさらに低下した。特に建設業では▲33.3(同▲21.4)とD Iの低下が目立ち、全体のD Iをも押し下げる形になっている。



経営上の問題点

「原材料・仕入商品の値上がり」回答割合が大幅上昇

低下傾向にあった「原材料・仕入商品の値上がり」の回答割合が今期は47.7%と大幅に上昇し、「受注・売上の停滞・減少」に続いて再び2位に上昇した。製造業で全体の約4分の3の企業から指摘がある他、非製造業でも指摘割合が上昇傾向にある。原材料価格の高騰、およびそこから派生する仕入商品価格の上昇が幅広い業種で深刻化していることが如実にうかがえる。

《経営上の問題点(上位8項目)》

(社、%)

問題点	06年10～12月期		07年1～3月期		07年4～6月期		順位 変動
	企業	割合	企業	割合	企業	割合	
1. 受注・売上の停滞・減少	121	52.8	112	49.3	126	52.3	
2. 原材料・仕入商品の値上がり	82	35.8	79	34.8	115	47.7	
3. 過当競争・製品安	87	38.0	89	39.2	96	39.8	
4. 人材の育成	83	36.2	86	37.9	83	34.4	
5. 従業員の高齢化	60	26.2	63	27.8	58	24.1	
6. 生産・販売能力の不足	48	21.0	50	22.0	48	19.9	
7. 人件費の増加	42	18.3	37	16.3	39	16.2	
8. 求人難	34	14.8	35	15.4	38	15.8	

《業種別：回答企業数およびD I》

設備資金は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	企業数	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	設備資金
食料品	14	7.1	14.3	▲14.3	21.4	14.3	7.7
パルプ・紙・紙加工品	14	▲7.1	▲28.6	▲7.1	▲7.1	7.1	▲14.3
金属製品	18	38.9	11.1	▲5.6	▲11.1	11.1	23.5
一般機械器具	13	▲7.7	7.7	0.0	▲7.7	8.3	7.7
その他製造業	44	15.9	▲15.9	6.8	▲2.3	11.4	4.5
製造業計	103	12.6	▲5.8	▲1.0	▲1.9	10.8	5.9
旅館・その他宿泊所	13	0.0	0.0	-	-	-	▲15.4
その他小売・サービス業等	85	▲14.3	▲30.6	-	-	-	4.9
卸・小売・サービス業計	98	▲12.4	▲26.5	-	-	-	2.1
建設業計	40	▲7.5	▲35.0	-	-	-	▲33.3
非製造業計	138	▲10.9	▲29.0	-	-	-	▲8.2